

Annual Report



第3期

令和3年8月1日-令和4年7月31日



JAPAN CHALLENGER PROJECT STARTED A NEW BUSINESS COMPETITION FOR LOCAL ENTREPRENEURS TO SOLVE SOCIAL ISSUES.

CHALLENGER PROJECT

公益社団法人 **ジャパン チャレンジャー プロジェクト**

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

〒248-0012 神奈川県鎌倉市大町1-1-15

info@japanchallengerproject.com

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトとは

当法人は、令和2年6月3日から公益財団法人として活動をしており、当期は、ソーシャルミッションの実現の為、下記のとおり公益事業活動を実施した。

理念

MISSION 地域起業家をつくる

地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功している。

VISION 地方創生ベンチャーがITベンチャーと同様主流となる

地域が社会課題と言われたことが、昔の話と言われる。
日本が、起業後進国から起業先進国へ仲間入りする。

VALUE 地域起業家のプロデューサーとなる

地方創生事業にチャレンジする地域起業家の
発掘、育成、発表、起業までをトータルサポートする。

KPI (2030年)

- ・地方創生事業モデルを100地域で、JAPAN CHALLENGER AWARDを開催する。
- ・地域起業家から10社新規上場企業に導く。
- ・大学、高校、中学校に「起業体験プログラム」を1000校に導入する。

BOARD MEMBERS



会長理事
藤野 英人

野村投資顧問（現：野村アセットマネジメント）、ジャーディンフレミング（現：JPモルガン・アセット・マネジメント）、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントを経て2003年レオス・キャピタルワークス創業。CIO（最高投資責任者）に就任。2009年取締役就任後、2015年10月より現職。中小型・成長株の運用経験が長く、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持つ。東証アカデミーフェロー。



副会長理事
藤野 大輔

ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社。1998年、学生時代の友人と共に面白法人カヤックを設立。鎌倉に本社を構え、鎌倉からオリジナリティのあるコンテンツをWebサイト、スマートフォンアプリ、ソーシャルゲーム市場に発信する。



代表理事
中川 直洋

大手証券会社を経て、ワタミグループ執行役員 社長室長、広報、営業推進本部、マーケティング本部長を歴任。公益財団法人みんなの夢をかなえる会を立ち上げ専務理事として、国内最大規模のみんなの夢アワードをプロデュース。多数の社会起業家を発掘。2019年独立し、地方創生プロデューサー 内閣府地域伝道師、総務省地域力創造アドバイザー

業務執行理事 仲木威雄) レオス・キャピタルワークス (株)

- 江成道子 (一社) シングルマザー支援協会 代表理事
勝見成久 サポートワン (株) 代表取締役
白柳雅文 (株) エイト 代表取締役
本田亮 本田亮事務所 代表取締役
町井則雄 (株) SHINKA代表取締役
渡邊智恵子 一般社団法人CCF 理事長
村口和孝 (株) 日本テクノロジーパートナーズ 代表取締役
関 幸子 (株) ローカルファースト研究所代表

監事

行方一正 (株) ピーストラベルプロジェクト代表取締役

I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、人口減少、少子化、高齢化、地方の過疎化、自治体の財政難などが深刻化しているが、当法人では主に以下の2点が課題であると考えている。

- ① 上記のように社会課題が混在する現在の日本において、将来のビジョンが描きづらいこと
- ② 学校教育において「事業」や「起業」、「仕事」に対する学びの場が著しく少ないこと

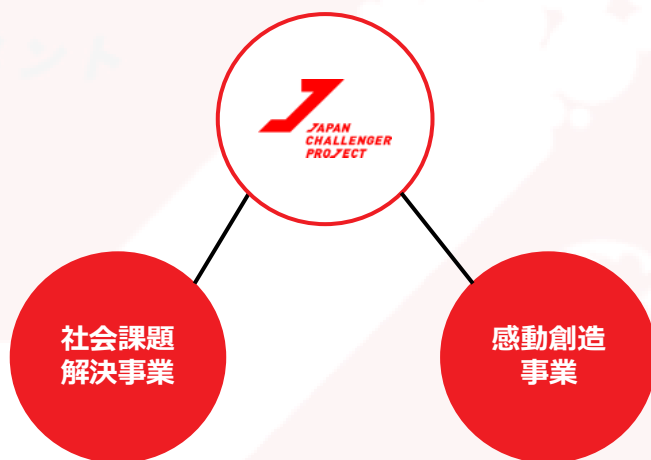
上記課題の解決策として、次の3つの段階が必要だと考える。

- ①（各々が）ビジョンを持つこと
- ② そのビジョンを基に、実現のためのグランドデザインを描くこと
- ③ 起業家を、サポート、マネジメント、プロデュースする体制があること

当法人は、このような背景に鑑みて、社会の活性化を図るには、地域の活性化が重要であると考え、改めて各地方の現状を検討した。現在の地方には地産地消に加えて、観光、ビジネス等の地産地商の原石がある。その原石である地域の起業家（当法人では「チャレンジャー」と呼ぶ。）が力を発揮し、描いた事業で地方を活性化してゆくために、当法人は「彼らをいかに磨き上げるか」が重要であると考えている。そこで、上記解決策を念頭に、チャレンジャーに経営の「ミッション・ビジョン・戦略」を学んでもらい、彼らが描いたビジネスプランを起業する地域の人々に対して発表し、「共感・賛同・協力」を得られるような事業に育ててゆく。当法人は、このように「発掘」「育成」「発表」「事業」という体系的な体制を構築して地方創生に取り組むことが社会を豊かにすると考え、活動してきた。

事業の内容

現在の経済活動では、社会課題に取り組む事業と、顧客に感動や驚きの体験を与える事業の両方が必要とされている。そこで、当法人では、社会課題解決事業と感動創造事業を融合した新しい事業アイデアを構築し、公民連携による地方創生事業に取り組む。



これまでにも多くの起業家たちが、自分の事業モデルと目の前にある「問題」を結び付けてチャレンジしてきたが、当法人では、起業家たちが挑戦できる環境を作り、育成、サポートすることで、「経済活性化」と「地域課題解決」を両立させ、持続可能な社会を作り出すことに寄与できると考える。

また、地域におけるプロジェクトの立案、計画、実施等を支援するために、そのプロジェクトメンバーの能力開発のためのセミナーを開催し、できる限り事業に関与するサポートを行う。本事業は、国、地方自治体や各種団体からの委託も受けることとする。

I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

昨今の日本は課題先進国と叫ばれて久しく、人口減少・少子化・高齢化・自治体の財源難などの課題が深刻化しています。また、コロナショックにより、様々な活動が自粛されております。その一方で「住まい」と「観光ビジネス」では地方の価値が見直されています。次なるインバウンドが再来すると思われ、観光業への可能性もさらに高まり、地域起業家の輩出が一層重要になったと感じております。人々がこれらのリスクをチャンスに変え、地方創生事業を成功させるには、行政がもつ経験やノウハウに加え、民間企業が持つ「知恵とノウハウ」を効果的に活用しながら、各地域が産官学連携による《地域のグランドデザイン》を描き具体的な事業に落とし込む地域戦略が必要です。

歴史的な文化、景観、食材などのブランド構築…。

今や地方には、食の6次産業、観光プログラムなどの原石が埋まっています。その原石である地域起業家（ジャパンチャレンジャー）が宝石として力を発揮し、描いた事業で地方を輝かせていくために、私たちは『彼らをいかに磨き上げるか』が大事であると考えます。彼らに経営の原理原則《ミッション・ビジョン・戦略》を学び、彼らが見出したビジネスプランを地域の方々に聞いていただき、共感・賛同・協力を得て事業として育てていく、そんなトータルサポート体制を構築していきます。『地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD』は「地方起業こそ最強のビジネスモデル～チャレンジャーの発表の場」です。

地域を愛する地元事業者や地元高校生など将来のシゴトにできる事業モデルを発表する機会を設け、単なる夢物語ではない「事業チャレンジ」をサポートしていきたいと考えています。

なお、当イベントを主催は、各自治体と商工会など創業に関わる団体と連携し、のプロジェクトにします。その結果イベントを通じ、**地方創生事業を形**にしていきます。

令和3年10月には、2回目となるいざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 建長寺を開催しました。コロナ禍を前提に密を避け、リモートを屈指したイベントを成功することができました。その後、各地域でもJAPAN CHALLENGER AWARD 地方版を開催してきました。

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

企画/制作

地域で起業に挑戦する地方創生起業家（地方創生チャレンジャー）の発掘、育成、発表、起業のトータルサポート
地方創生事業のビジネスアイデアをビジネスモデルまで構築する実践型のビジネスコンテスト&ビジネスマッチングを運営
地域地元の中・高・大生を対象に 起業体験のセミナー、イベントを運営

総務

2020年、藤野英人、柳澤大輔と中川直洋が、公益社団法人を設立。
理事は著名な経営者、事務局員は若者主体で運営。「地方起業こそ最強のビジネスモデルである」を地方創生に提唱しています。

代表理事 紹介

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト代表理事
地域創造アドバイザー
弥蔵舎株式会社 代表取締役
株式会社百笑のくらし 取締役
1964年生まれ。三重県出身。
1987年大手証券会社に入社。個人・法人証券業務に従事。
2002年よりワタミに入社、ワタミ創業者渡邊美樹の執行役員社長室長として10年間秘書を務める。ワタミグループの新規事業介護事業や高齢者宅配事業に関わり、経営危機の折、広報部長を兼務、さらに営業推進本部を立ち上げ、インバウンド事業など新規事業を立ち上げる。
2017年から地方創生への取組み、全国各地でビジネスセミナー、ビジネスコンテストを展開。
2018年法政大学兼任講師、2020年社会起業大学講師
2019年独立し、レオスキャピタルワークスの藤野英人氏、面白法人力ヤックの柳澤大輔氏らと公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトを立ち上げる。2020年10月に、いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 建長寺を開催する。
全国の地域起業家や社会起業家を多数、発掘サポートしている。

コンセプトと目的

コロナショックにより、都心から地方への関心が高まり、実際にリベンジノブが加速している。また近年、起業に関心が高まり起業家育成が重要性が問われています。地方起業で事業を軌道に乗せることこそ、真の地方創生事業と考えています。地方には、地域の魅力や地域課題を事業で解決する仕組みを構築しなければなりません。地域起業家は、事前に専門家による指導や勉強会に参加し、地方の魅力や地域課題をビジネスプランをテて発表していきます。地域起業家の熱い思いを多くの市民が聞くことで、自分たちの力で地域を元気にしたい・できる！という意識を育み醸成させ、地域創生につながるムーブメントを創出していきます。

公民連携プロジェクト貢献

「地方創生」事業を成功させるには、行政が持つ従来の経験やノウハウに加え、民間企業が持つ「知恵とノウハウ」を効果的に活用しながら、「公民」連携による「地域のグランドデザイン」を描き、民間主体による起業や事業を促進し、公民連携プロジェクトへ貢献します。

イベントを通じた地域への貢献

JAPAN CHALLENGER AWARD 地方版は、自治体は商工会、観光協会などで委員会を組成します。そして地元金融機関、企業がサポートし、観覧には地元高校が参加します。イベントは祭と同様、地域が固まります。ビジネスコンテストをイベント化する事で、地域貢献につなげます。

まちづくりに貢献

地方創生では、「商売」が最大の鍵です。これらの「経営」「商売」を学び、活気あふれる地域として、町づくりに貢献しています。

展開イメージ

- ①当地で起業を考えている、地方に関心がある都心の方から募集を行います。（SMOUT）
- ②当地でビジネスモデルの構築～事業化までをJAPAN CHALLENGER SEMINAR
- ③JAPAN CHALLENGER AWARD を当地で開催
- ④経営や資金等、スタートアップまでサポートし、事業成功に導きます。



- | | | | |
|--------|---------|-------------|--|
| STEP 1 | X X 申込み | セミナーの申込み | セミナーへの参加を申込みます。 |
| STEP 2 | X X 受付 | セミナーの受講 | 起業や新規事業のビジネスモデルを構築するため、著名な経営者である理事など専門家の講師陣による勉強会を開催します。「地方起業の教科書」 |
| STEP 3 | X X 受付 | アワードのエントリー | 起業や新規事業のビジネスモデルをAWARDで発表し、サポート企業やファン等からの支援を受けたい場合は、夢AWARDへエントリーし、事業計画を提出します。 |
| STEP 4 | X X 決定 | 発表者の選定 | 事業計画に対して審査を行い、JAPAN CHALLENGER AWARD 地方版でビジネスモデルを発表する 決定 ファイナリストを決定します。 |
| STEP 5 | X X 決定 | 事業計画の決定 | 発表者に対して、事業計画・ビジネスモデルをブラッシュアップする個別指導を行います。また、ステージ上でのプレゼンテーションの個別指導も行います。 |
| STEP 6 | X X 発表 | アワード発表 | ビジネスモデルを発表します。審査員、協賛企業、会場の参加者からの投票で、AWARD受賞者（グランプリ）が決定。観覧者は地元高校生など推進していきます。 |
| STEP 7 | X X 発表 | 起業・新規事業の準備 | AWARD受賞者ならびに優秀者に対して、サポート企業からの具体的な支援がスタートします。（支援内容は事業計画の内容によって異なります。） |
| STEP 8 | 開始 | 起業・新規事業スタート | 市内での起業、または新規事業がスタートします。 |

いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 推薦
全国区の地域起業家として、全国、世界レベルのビジネスモデルへ展開

I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

全体の流れ（セミナーから発表まで）

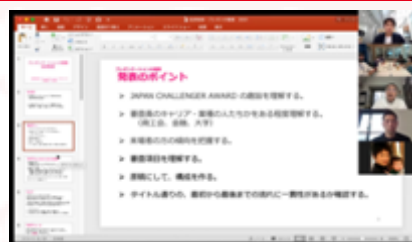
事前セミナー&アワード説明会

「JAPAN CHALLENGER AWARD」のエントリーを検討している方を対象に、起業セミナーとアワード説明会を実施。「地方起業の教科書」の著者で“田舎で稼ぐ新しい働き方”を提唱する、ジャパンチャレンジャープロジェクト代表理事の中川が主任講師を担当。「地方における起業の可能性とは?」「地方で稼ぐにはどうしたらいいのか?」など、地方起業の秘訣を学びます。会場参加者は、アワード参加希望者だけでなく、起業家教育に取り組む学校関係者からも参加が多数あり、その地域における起業文化の盛り上がりの機運醸成を高めていきます。



チャレンジャー向けセミナー

書類審査を通過した7名のチャレンジャーに向けたオンラインセミナーを実施。まずはJCP代表理事の中川氏より「プレゼンテーションの極意～起承転結～」を講義形式でレクチャーし、最終発表・審査会に向けて目指すプレゼンテーションについて学びます。またセミナー後は個別に事業計画のブラッシュアップを実施。現状の課題を認識し、それぞれ約2か月で強化すべきポイントを学びます。



個別ブラッシュアップ

JCP代表理事の中川より、チャレンジャー全員に個別ブラッシュアップ面談を実施。また7名のチャレンジャーそれぞれの事業内容に応じてSetouchi-i-Baseコーディネーターが伴走担当となり、本番までの事業プランのブラッシュアップや資料作成などサポート。



JAPAN CHALLENGER AWARD（発表者・審査員・会場）



JAPAN CHALLENGER AWARD（名刺交換会）



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

②チャレンジャー向けセミナー

いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD セミナー

開催数15回

2021年8月28日（土） 事前セミナー 参加人数7名

13:00～13:15 中川代表理事よりご挨拶、前回映像の放映

13:15～14:00 藤野会長より講義、質疑応答

14:30～14:45 柳澤副会長より講義、質疑応答

14:45～15:00 AWARDの今後のスケジュール説明

個別指導（オンライン） 講師 代表理事 中川直洋

チャレンジャー1名ずつと、個別指導を通じた事業プランのブラッシュアップを2度行いました。ビジネスモデルをブラッシュアップするためのノウハウと、事務局の1対1での手厚いサポート体制を強みとしています。その強みを活かしながら個別セミナーでは、チャレンジャーのビジネスアイデアを、共にビジネスモデルに落とし込み、さらにそのビジネスモデルをブラッシュアップしました。上記の丁寧な個別セミナーにより、本番までにより実現可能性の高いビジネスモデルにし、発表の質を上げることで、審査員や観客からの納得感を醸成しました。

■実施日：1回目 8月30日～9月1日 2回目 10月12日～10月13日

■実施時間：各1時間～1時間30分



JAPAN CHALLENGER AWARD 京丹後 セミナー

開催数16回

8月21日、20日 開催

京丹後市にて起業・創業・事業拡大を希望・検討している市民の方々向けのビジネス立ち上げに関する講座を開催。講師：中川直洋

1on1（オンライン）発表に向けて、事業モデルのブラッシュアップ並びに発表に向けてのプレゼン手法（発表・資料作成）を磨く。講師：中川直洋

■実施日：1回目 9月20日～22日 2回目 10月18日～10月19日

■実施時間：各1時間～1時間30分

くまもとチャレンジャー-AWARDin益城セミナー

開催数15回

起業・創業準備のための事業内容の深掘りやプレゼンテーションスキルアップセミナー(学習会)を開催しました。講師:中川直洋

個別セッション

1回目11月1日 2回目 11月29日、30日



● JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷 セミナー

開催数16回

10月9日(土) 10(日) 四條畷市役所にて地方起業の教科書を使い講義。

講師中川理事リモートにて、チャレンジャー1名につき計2回、

個別指導を通じた事業プランのブラッシュアップを行いました。

当団体では、ビジネスモデルをブラッシュアップするためのノウハウと、

いサポート体制を強みとしています。その強みを活かしながら個別セミナーでは、チャレンジャーのビジネスアイデアを、共にビジネスモデルに落とし込み、さらにそのビジネスモデルをブラッシュアップしました。上記の丁寧な個別セミナーにより、本番までにより実現可能性の高いビジネスモデルにし、発表の質を上げることで、審査員や観客からの納得感を醸成しました。

■実施日：1回目 11月10日 2回目 12月2日～12月3日

■実施時間：各1時間～1時間30分



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業

いづな事業チャレンジセミナー

開催数14回

12月4日（土）5日（日） 1月15日（土）、16日（日）
いづなコネクトEASTチャレンジラボ 講師：中川直洋 場所：

いづな事業チャレンジ個別セッション

1月21日（金）、1月31日（月）、2月1日（火） オンライン
講師：中川直洋

発表に向け、事業モデルのブラッシュアップや発表の極意、資料作成など各人2回個別に指導を受けた。



JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子セミナー

開催数16回

日程：1月17日、18日 場所：銚子市役所
講師：中川直洋

ゲスト：坂尾英彦（いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD グランプリ）
内容：地方起業の教科書をテキストを使い5つのステップ
（理念、戦略、社会を知る、パートナー、収益モデル）を講義

JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子個別セッション

1月29日（土）2月14日まで個別の指導
オンライン（ワンツーフン）講師：中川直洋

発表に向け、事業モデルのブラッシュアップや発表の極意、資料作成など各人2回個別に指導した。



瀬戸内チャレンジャーアワード2022」起業セミナー

開催数17回

2022年1月22日（土）11:00～12:00 オンライン開催

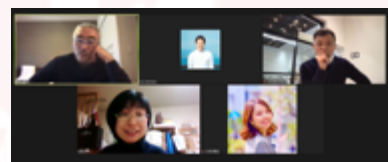
「地方における起業の可能性」「地方で稼ぐにはどうしたらいいのか」など、地方起業の秘訣を講義

予選会を通過した8名のチャレンジャーにJCP代表理事の中川氏より、オンラインで個別ブラッシュアップ面談を実施。

本番までに各チャレンジャーに2回ずつ、合計16回行った。

また8名のチャレンジャーそれぞれの事業内容に応じて、Setouchi-i-Baseコーディネーターが2名伴走担当となり、本番までの事業プランのブラッシュアップや資料作成など全面サポート。

現状の課題を認識し、それぞれ残りの約2か月で強化すべきポイントを学んだ。



MINOKAMO JAPAN CHALLENGER AWARDセミナー

開催数17回

日程：令和3年11月20日、21日 場所：美濃加茂シティホテル
講師：中川直洋 ゲスト：大津たまみ

内容：地方起業の教科書をテキストを使い5つのステップ
（理念、戦略、社会を知る、パートナー、収益モデル）を講義
自分の事業アイデアを事業モデルにするワークショップを行いました。

個別セッション

1回目 12月21日から個別指導 2回目 1月9日、13日から個別指導 3回目 3月13日から個別指導

オンライン（ワンツーフン）講師：中川直洋

発表に向け、事業モデルのブラッシュアップや発表の極意、資料作成など各人2回から3回個別に指導した。



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業 いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

地域の魅力化や課題をビジネスで解決する「ビジネスアイデア」を持った起業家たちと、その事業を応援したい地元企業とのマッチングを行うビジネスコンテスト型のイベントです。「ジャパンチャレンジャー」と呼ばれる挑戦者たちが、自らのビジネスプランを審査員やイベント参加者の前で発表し、グランプリを目指します。また、ジャパンチャレンジャーのプランを聞き、関心をもったサポート企業からは、出資や事業提携などのオファーがくることもあります。地域起業家を応援することはもちろん、さらには彼らジャパンチャレンジャーの熱い想いを聞いた参加者のみなさんが「地域を元気にしたい」という意識を持ち、地方創生のムーブメントを起こすこと

開催概要

イベント名： いざ鎌倉！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021 in 建長寺
 開催日： 2021年10月31日(日)
 会場名： 建長寺(神奈川県鎌倉市山ノ内8)
 参加方法： オフライン参加費 5,000円(両日通し券) ※限定100名
 オンライン参加費 無料
 後援： 内閣府、総務省、経済産業省、農林水産省、観光庁、
 日本取引所(東証)グループ、神奈川県、鎌倉市
 実行委員長： 藤野英人 審査委員長： 柳澤大輔
 総合プロデューサー： 中川直洋



JAPAN CHALLENGER

家村瞳「岩手町キャバツサブプロジェクト」
 斉藤大将『バーチャルタウン』～芸術と日常、地域が溶け合う空間を～
 坂尾英彦「継ぎたくなかった農家の長男が起す農業革命」
 島田丁花『健康で楽しい未来型コミュニティ』
 新田理恵『日本の薬草で、循環するからだと経済をつくる』
 村田淳一「乗鞍・冷泉小屋再生プロジェクト」
 善積真吾「リユース容器シェアリングサービス | Megloo(メグルー)」

ゲスト

・コノミアキラ、瀬戸山匠、荒木崇、元親、干場健太郎、濱田祐太

サミットパネルディスカッション

・木下斉（一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事）
 ・町井 則雄（株式会社シンカ代表取締役）

カンファレンスパネルディスカッション

・深澤準弥（松崎町企画観光課 課長）
 ・行方一正（株式会社ビーストラベルプロジェクト 代表取締役）
 ・関幸子（株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役）
 ・矢尾板俊平（淑徳大学コミュニケーション政策学部準教授）
 ・尾澤麻里香（株式会社KURABITO STAY 代表取締役）※オンライン
 ・石井芳明（経済産業省 経済産業政策局 新規事業創造推進室長）
 ・森元恵介（株式会社東京証券取引所 金融リテラシーサポート部）
 ・江成道子（一般社団法人シングルマザー支援協会 代表理事）

JAPAN CHALLENGER 審査員

実行委員長 藤野英人（理事長） レオス・キャピタルワークス（株）
 審査委員長 柳沢大輔（理事副会長） 面白法人カヤック 代表取締役CEO
 審査員 村口和孝（理事）（株）日本テクノロジーベンチャーパートナーズ代表
 外部審査員 大津たまみ（生前生理普及協会設立者）
 寺田明日香（陸上競技選手 東京オリンピック日本代表）
 藤沢久美（経済評論家）

司会

・平野裕加里、仲木威雄

カマコンxジャパチャレ

・高畑拓弥（株式会社リプル）
 ・阿部幹也（大川洗町 地域おこし協力隊）
 ・カマコンメンバーのみなさん、以下10名
 青山政弘、稲垣安成、植嶋平治、城戸忠之、田中みちる、古川、三木康司、宮瀬忍、村尾周三江、渡辺みさき

SUMOUTオンライン

・中島みき（面白法人カヤック）

ふるさとワーキングホリデー

・総務省職員
 ・江頭千花子（大学生）
 ・森國美侑（大学生）
 ・渡邊智恵子（一般社団法人サーキュラーコットンファクトリー代表理事）



I. 普及啓発事業（公益事業1） 地方創生の普及啓発を行う事業 JAPAN CHALLENGER AWARD

京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

- 日程 2021年11月7日（日） 13:30-16:00
- 場所 金刀比羅神社
- 主催 京丹後市
- 共催 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 特別協賛 アサヒグループホールディングス株式会社
- 後援 近畿経済産業局

京丹後発 JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

グループ

■ 藤本大輔（すずきでまこ）
株式会社すずきでまこ
「すずきでまこ」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「すずきでまこ」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

■ 浅川太郎（あさかわたろう）
株式会社浅川太郎
「浅川太郎」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「浅川太郎」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

■ 小島伸（こじまのぶ）
株式会社小島伸
「小島伸」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「小島伸」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

■ 藤崎智子（ふくさきともこ）
株式会社藤崎智子
「藤崎智子」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「藤崎智子」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

京丹後発 JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

■ 藤本大輔（すずきでまこ）
株式会社すずきでまこ
「すずきでまこ」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「すずきでまこ」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

■ 浅川太郎（あさかわたろう）
株式会社浅川太郎
「浅川太郎」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「浅川太郎」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

■ 小島伸（こじまのぶ）
株式会社小島伸
「小島伸」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「小島伸」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

■ 藤崎智子（ふくさきともこ）
株式会社藤崎智子
「藤崎智子」は、京丹後市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「藤崎智子」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

体制

- プレゼンター：①全国からの地元高校生（京丹後市内含む）
②京丹後市内で地方創生事業を進める地域の起業家
- 審査員・コメンテーター（候補）
 - ・中山泰（京丹後市長）
 - ・柳澤大輔（面白法人カヤック代表取締役社長）
 - ・美濃和男（株式会社WOW WORLD代表取締役社長）
 - ・中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学学長）
 - ・藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
 - ・池田佳代子（京丹後 宿 おかみさんの会会長）
 - ・平野卓（株式会社日進製作所代表取締役社長）
- 司会：杉本かおり・仲木威雄
- 審査委員長：ICT 柳澤大輔（面白法人カヤック 代表取締役社長）
- 審査委員：AWARD 藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
- プロデューサー：中川直洋（JCP代表理事）
- ディレクター：松井大介（JCP事務局）
仁井ひな（JCP事務局）
東田一起（JCP事務局）
外所ゆか（JCP事務局）
廣田修造（JCP事務局）
- 地元コーディネーター：濱田祐太（株式会社ローカルフラッグ）

JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷

- 場所 えにし庵（四條畷市南野2丁目6-3）
- 日程：2021年12月11日（土）
- 主催：JAPAN CHALLENGER AWARD in 四條畷実行委員会
- 協賛：上村金網工業株式会社、枚方信用金庫 株式会社ジェイコムウエスト、堀産業株式会社
- 参加：四條畷学園高校



チャレンジャー⑧ 編野 剛（ハシノ ショウ）

「ハシノ ショウ」は、枚方市で創業した地元企業。地元産の食材を使用した「ハシノ ショウ」の展開により、地元産の食材の消費を促進し、地域経済の活性化に貢献しています。

■ 柳澤大輔（面白法人カヤック代表取締役社長）
■ 美濃和男（株式会社WOW WORLD代表取締役社長）
■ 中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学学長）
■ 藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
■ 池田佳代子（京丹後 宿 おかみさんの会会長）
■ 平野卓（株式会社日進製作所代表取締役社長）

■ 司会：杉本かおり・仲木威雄
■ 審査委員長：ICT 柳澤大輔（面白法人カヤック 代表取締役社長）
■ 審査委員：AWARD 藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
■ プロデューサー：中川直洋（JCP代表理事）
■ ディレクター：松井大介（JCP事務局）
仁井ひな（JCP事務局）
東田一起（JCP事務局）
外所ゆか（JCP事務局）
廣田修造（JCP事務局）
■ 地元コーディネーター：濱田祐太（株式会社ローカルフラッグ）

審査員

5名の審査員がチャレンジャーの申請書類に対してコメントをしました。

■ 柳澤大輔（面白法人カヤック代表取締役社長）
■ 美濃和男（株式会社WOW WORLD代表取締役社長）
■ 中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学学長）
■ 藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
■ 池田佳代子（京丹後 宿 おかみさんの会会長）
■ 平野卓（株式会社日進製作所代表取締役社長）

オープニング

■ 開会宣言 東 梓平
■ キタワケウォールズ 谷口 智則

開会宣言 東市長
谷口智則による
キタワケウォールズ

特別企画

■ 高田 下花
■ 柳澤大輔（面白法人カヤック代表取締役社長）
■ 美濃和男（株式会社WOW WORLD代表取締役社長）
■ 中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学学長）
■ 藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
■ 池田佳代子（京丹後 宿 おかみさんの会会長）
■ 平野卓（株式会社日進製作所代表取締役社長）

フィナーレ（表彰式）

今回グランプリを獲得したのは、チャレンジャー⑧の編野剛さんです。おめでとうございます！
グランプリは、チャレンジャー⑧の久保裕司さんです。おめでとうございます！
さくら賞は、チャレンジャー⑧の池田佳代子さんです。おめでとうございます！

■ グランプリ 編野 剛さん
■ さくら賞 久保 裕司さん
■ 審査員特別賞 多田 ゆきさん

くまもと CHALLENGER AWARD in 益城

- 日時 2021年12月18日（土） 13:00~16:00
- 会場 益城町交流情報センター ミナテラス
- 主催 くまもとチャレンジャーAWARDプロジェクト運営委員会
- 後援 熊本県、益城町、熊本商工会議所、熊本日日新聞社、RKK熊本放送、熊本県民テレビ、NHK熊本放送局、エフエム熊本 テレビ熊本、熊本朝日放送、FM791
- 協賛 株式会社レイメイ藤井、株式会社日本コンピュータ開発、株式会社林田製材、株式会社丸菱ホールディングス熊本放送、熊本経営コンサルタント、くろみ福祉会、ネイチャー生活倶楽部、トリプルイー、平野設計室 ポーラ熊本ゾーン、MARUKU、SERENDIPITY、ツカサ創研、崇城大学、橋本印刷、花もめん、藤田香織税理士事務所 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン
- 協力 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 企画制作・運営 くまもとチャレンジャーAWARDプロジェクト運営委員会

開催概要（AWARD）

事業プレゼンテーションブロードの選出（オーディエンス）の経緯～審査員発表

■ 審査員発表
審査員発表の様子。審査員発表の様子。審査員発表の様子。

ファイナリスト

■ 審査員発表
審査員発表の様子。審査員発表の様子。審査員発表の様子。

■ 柳澤大輔（面白法人カヤック代表取締役社長）
■ 美濃和男（株式会社WOW WORLD代表取締役社長）
■ 中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学学長）
■ 藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
■ 池田佳代子（京丹後 宿 おかみさんの会会長）
■ 平野卓（株式会社日進製作所代表取締役社長）

くまもとチャレンジャーAWARD in 益城

■ 柳澤大輔（面白法人カヤック代表取締役社長）
■ 美濃和男（株式会社WOW WORLD代表取締役社長）
■ 中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学学長）
■ 藤野英人（レオス・キャピタルワークス代表取締役）
■ 池田佳代子（京丹後 宿 おかみさんの会会長）
■ 平野卓（株式会社日進製作所代表取締役社長）

I. 普及啓発事業（公益事業 1） 地方創生の普及啓発を行う事業 JAPAN CHALLENGER AWARD

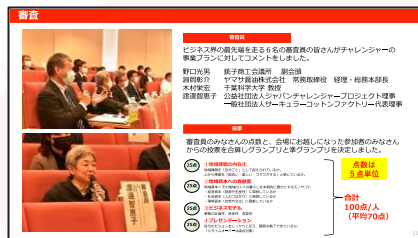
JAPAN CHALLENGER AWARD in 飯綱

- 日時：2022年2月5日（土）13:00～16:30（開場12:30）
- 会場：飯綱町役場第2庁舎2階会議室
- 主催：いいつなフューチャースクール（飯綱町）
/公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 総合プロデューサー・演出・音楽・指導
中川直洋（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）



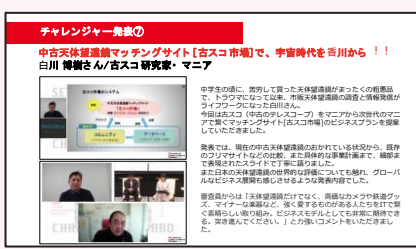
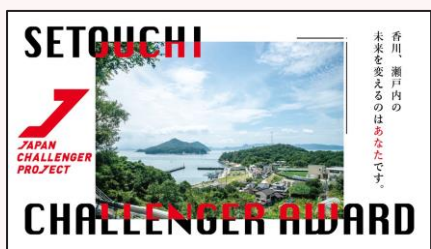
JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子

- 場所 千葉科学大学 防災シミュレーションセンター（千葉県銚子市潮見市15-8）
- 日程：2022年2月20日（日）
- 主催：JAPAN CHALLENGER AWARD in 銚子実行委員会
銚子市、銚子商工会議所、一般社団法人銚子市観光協会、千葉県立銚子商業高等学校、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、千葉科学大学、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- サポート企業：ヤマサ醤油株式会社、銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合
ヤマサ醤油株式会社 銚子商工会議所、銚子信用金庫、銚子商工信用組合、
レオスキャピタルワークス株式会社、面白法人カヤック 株式会社レイメイ藤井、Hamee株式会社 株式会社大和システム
株式会社クレオ、株式会社アイサイト 弥蔵舎株式会社 株式会社WOW WORLD 日本ITチャリティ駅伝
- 参加学校：千葉県立銚子商業高等学校



SETIUCHI CHALLENGER AWARD

- 日程：2022年3月5日（土）14:00～16:40
- 場所：オンライン開催
- 主催：香川県
- 内容：発表会では7組のファイナリストが、地域課題をビジネスで解決するアイデアを発表し、審査員と会場参加されたサポーター企業による投票によりグランプリを決定します。



I. 普及啓発事業（公益事業 1/2） 地方創生の普及啓発を行う事業

JAPAN CHALLENGER GATE

JAPAN CHALLENGER GATE ~New Business Pitch~

- 場所：東証Arrows
- 日程：2022年7月23日（土） 13時-16時30分
- 主催：公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト（JCP）
一般社団法人東京ニュービジネス協議会（東京NBC）
- 後援：経済産業省 株式会社東京証券取引所（株式会社日本取引所グループ・JPX）
- 協賛：アートグリーン アイサイト アクションパワー エアトリ エイト オリアイ カヤック クリーク・アンド・リバー社 クレオ 彩 小林テレビサピエント 日本シングルマザー支援協会 CO2資源化研究所 セルフウィング ダイアナ 大和システムクリエートTempest high wind. NIPPON ITチャリティ 駅伝 Hamee VFR ビジネスゲートウェイ ピーアークホールディングス ピーストラベルプロジェクト フォーカスシステムズ ベアーズ ボードウォーク・キャピタル 松下運輸 明成建設工業 弥蔵舎 ヤマサ醤油 Ubicomホールディングス レイメイフジイ レオス・キャピタルワークス WOW WORLD

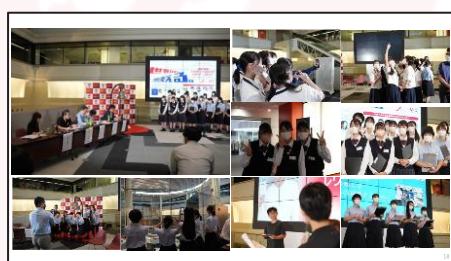
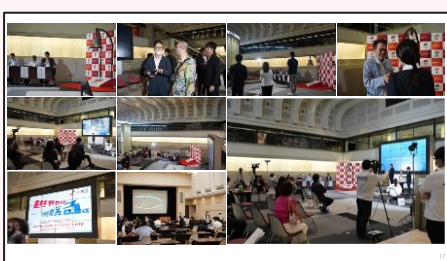
| JAPAN CHALLENGER | |
|------------------|-----------------|
| No.1 野口 圭登 | 株式会社Brave group |
| No.2 湯浅 浩一郎 | VFR株式会社 |
| No.3 永砂 和輝 | ながすな爾株式会社 |
| No.4 中村 俊介 | 株式会社しくみデザイン |
| No.5 池田 和泉 | 株式会社KOLテクノロジーズ |

| スーパーアドバイザー | |
|---------------|---------------------------------|
| 藤野 英人 (JCP) | レオスキャピタルワークス株式会社 |
| 井川 幸広 (東京NBC) | 株式会社クリーク・アンド・リバー社 |
| 村口 和孝 (JCP) | 日本テクノロジーベンチャーパートナーズ |
| 那珂 通雅 (東京NBC) | ボードウォーク・キャピタル株式会社 |
| 矢澤 麻里子 | Yazawa Ventures Founder and CEO |

| 起業体験プログラム発表 高校生 | |
|---|--|
| 千葉県立銚子商業高校 津崎彩菜、飯田蒼生、海上さくら | |
| 英数学館中・高等学校 赤瀬愛央、小川枝美理、岡田樹子、安藤雛子、栗原伶奈 | |
| 秋田県立西目高等学校 千丸夏葵、森彩世 | |
| 安田女子中学高等学校 池上桃愛、大森瑠依、楠咲乃 城山藍子、宮川佳子、山本綾乃 | |

| オープニングゲスト | |
|-----------|---|
| 李 禮元 | (株) polarewon CEO Chief Executive Officer |

| 司会 | |
|------------|-------|
| 仲木威雄 (JCP) | 平野裕加里 |



高校生起業体験プロジェクト趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、少子化、高齢化、地域の過疎化など課題が深刻化している。このような社会状況を打開するためには、まず地方の活性化が重要であると考えます。地方に目を向けたとき、地方創生の主役になるべきは、地元の若者をおいて他にはない。地元で育ち、地元で働き、起業するということは、昔であればごく自然なことだったが、高度経済成長期からは、地方は工場誘致と一部観光地として栄え、若者は都心に集中した。しかし、地方には地産地商の原石が多数ある。原石を地元の中・高生に知ってもらい、それらの良さを活かしたビジネスモデルの作り方を学び、形にしてもらう。「自分たちの力で地域を元気にしたい、元気にできる。」という意識を育み、醸成させ、地方創生につながるムーブメントを創出してゆく。

事業の内容

(株)日本取引所グループが取り組んでいる「起業体験プログラム」を採用し、中・高・大生を対象に、起業体験のセミナーを行う。当該セミナーで磨き上げたビジネスモデルは「中・高・大生：JAPAN CHALLENGER AWARD」を開催し発表する。公1の「全国大会：JAPAN CHALLENGER AWARD」の会場では、体験をしたビジネスモデルのブースを出展する。

セミナー事業

東京証券取引所（TPX起業体験プログラム）と共同で起業家セミナーを開催します。TPX起業体験プログラムとは、中学生や高校生を対象に、模擬店ビジネスを行う株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考える力などの「生きる力」を育むことを目的とする起業教育イベントです。



起業体験プログラムの流れ

1.参加者は、チームでビジネスアイデアを考え、投資家（ベンチャーキャピタリスト）に対してプレゼンテーションを行い、投資家から出資を受けて株式会社を作ります。社長、副社長、経理、広報などの役割分担も重要になります。

2.株式会社の経営者として、地域のお祭りや学園祭などを舞台に、本物のお客様に向けて、模擬店を運営しビジネスを行います。

3.販売活動の終了後は、決算書類（損益計算書と貸借対照表）を作成し、監査を受けます。会社が利益をあげた場合には税金を支払い、最後に株主総会を開催して経営の結果を株主に報告し、会社の全財産を株主に分配してプログラムを終了します。



2.アワード開催事業

- 日時：2021年3月5日（金曜日）13:00～16:15
- 場所：大熊町市役所
- 規模：約40名（学生28名・社会12名）
- 参加：チャレンジャー（大会議室 8名、多目的ホール6名）
- 参加費：無料
- 主催：株式会社Oriai(プロジェクト全体)公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト(企画発表会のみ)
- 協力：大熊町役場

■内容：おおくまハチドリプロジェクトは今年から新たに始まった全国の学生による大熊町の発展のための企画立案プロジェクトです。事前勉強会、現地見学会の2回の学びをもとにチームごとに自分たちの強みを生かした立案を行い、最終的に企画発表会にて町役場・関係者の皆様の前で発表を行います。東日本大震災から10年目の節目に、当時小学生だった学生たちが改めてその歴史を振り返り、新たな角度から未来を見据え、知を集結してアイデアを提案することで、大熊町に対する若者の深い理解と関係人口の創出、また発展のきっかけとなることを目指します。

【チャレンジャー】

大会議室 8チーム

■「フェスが花を咲かせる町」チーム（優秀賞）

メンバー：原山勇輝、土屋光輝、小林明日香

どんないい企画や商品も、大熊町を知ってもらえていなければ広がっていかないという想いから、復興や観光ではなく音楽で人を呼び込むフェスでアプローチ。

以前復興支援で訪れたアーティストや福島にゆかりのある芸能人にチャリティで出演依頼をしたり、当日来場者には必ず花の種を植えて帰ってもらうことで再度訪問したくなる工夫をするなど、学生ならではの斬新なアイデアと予算に対する現実的な手法の提案を合わせて行なった。

■フラワーパークおおくま

メンバー：山田駿・中村優斗・遠藤和斗・阿野真由香・古川紗也くま型のフラワーパークを町民参加で作新名所に

■オリジナルほんしゅ「いちごいちえ」

メンバー：亀井遥菜・川口東佑・寺山遼。ドライいちごで自分好みのドリンクが作れる新商品

■3R（スリーアール）

メンバー：小島尚紀・吉田幸希・小池俊・横後弘樹・西塚百花。再生エネルギーを強化し売電事業で新たな収入を

■おおくまSUN!SUN! プロジェクト

メンバー：海野峻英・宮下桃佳・秋山翔・野澤佳那子・甲斐谷航太。SNSで全国から大熊の本・建築・アートを活性化

■#（ハッシュタグ）大熊食堂

メンバー：野口爽太郎・河村萌子・神山雄大。いちごの新メニューを開発し大熊食堂を更に魅力化

■ひまわりの町 大熊

メンバー：瀨本翔天・砂庭由里香・河村青依・重富捺希。ドローン技術を駆使したひまわり栽培と商品開発

■D.I.T～大熊町でオリジナル グランピング～

メンバー：見城創介・樽本理子・桑久保妹佳・梨本真帆。参加者が手作りするグランピングで若者の聖地へ

多目的ホール 7チーム

■「自衛隊式防災キャンプ」チーム（優秀賞）

メンバー：柴岡大幹、長田楓加、早川沙希子、中山結

震災の教訓を未来に伝えつつも、人々が楽しんで大熊町に訪れることができないか、との思いで新たなキャンプ場の運営を提案した。

初めは大熊町役場の前にある広場を活用して自衛隊や各団体を呼び込み、関係者のみでキャンプ生活を体験。その後、他の自治体の防災課職員や学生団体を対象に広げる。いずれは一般客を迎え、非常食や非常用お風呂、テントでの生活などを楽しめる学びと遊びが混ざった施設を目指すと言った

■HELLO NEW OKUMA

メンバー：中村裕斗・藤岡しほり・三浦愛果

大熊にゆかりのある人々が年に一度集まれるお祭りを提案

■親子で巡る大熊町ツアー

メンバー：齊藤優太・林千咲・高橋真実・鰐淵麻梨子

震災遺構と今の魅力を伝え関係人口をつくるツアー

■#（ハッシュタグ）熊ジョブ

メンバー：富山浩恵・枝松雛子・三澤史華

バイト制度を活用した新しい人材マッチング

■未来の大熊町を想像× 創造しよう

メンバー：寺社亮太・横川詩恵・稲垣咲希

植樹を通して観光から定住につなげる親子ツアー

■アートプロジェクト大熊

メンバー：豎山開・佐藤薫子・鈴木涼太・岩永茉優

復興公園と大熊ならではの芸術祭でアートの町に

■アウトドアスポーツでフレッシュに

メンバー：田村尚大・宮下 礼

町民の健康とコミュニティ作りをスポーツで推進

【審査員】

大会議室

・副町長：島和広氏

・企画課長：永井誠氏

・ネクサスファームおおくま工場長：徳田辰吾氏

・公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 理事：渡邊智恵子氏

多目的ホール

・保険福祉課長：幾橋功氏

・生活支援課長：橋本浩江氏

・総務課秘書広報係長：村井一隆氏

・公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 代表理事：中川直洋



2020年度 第一回おおくまハチドリプロジェクト 実施報告

年間活動報告

| | | | |
|-----|-----|--|---|
| 令和3 | | | |
| 8月 | 11日 | いざ鎌倉！個別オリエンテーション7名（オンライン） | （12日、13日） |
| | 21日 | JAPAN CHALLENGER セミナー IN 京丹後 | 10名参加 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 22日 | JAPAN CHALLENGER セミナー IN 京丹後 | 10名参加 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 28日 | いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD セミナー（オンライン） | 7名参加 講師 会長 藤野英人 副会長 柳澤大輔 |
| | 30日 | いざ鎌倉！第1回 個別セッション7名（オンライン） | ～31日、1日 講師 代表理事 中川直洋 |
| 9月 | 3日 | 銚子市視察 代表理事 中川直洋 | 京丹後発！ICT×地方創生甲子園選考会（オンライン） |
| | 8日 | 京丹後発！ICT×地方創生甲子園 | 第1回高校生個別セッション11名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋～9日まで |
| | 11日 | いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD レジェンドサロン（1期） | 7名参加 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 13日 | 京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 第1回 個別セッション7名参加 | 講師 代表理事 中川直洋 ～14日まで |
| | 15日 | 美濃加茂市 第2回 SDG s 推進協議会 普及啓発・人材育成部会 出席 | 代表理事 中川直洋 |
| | 21日 | 京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 第2回 個別セッション7名参加 | 講師 代表理事 中川直洋 ～22日まで |
| | 24日 | くまもと CHALLENGER AWARD セミナー（益城町） | 参加者20名 講師 代表理事 中川直洋 25日まで |
| | 28日 | 乗鞍 水仙小屋視察 | 代表理事 中川直洋 |
| | 29日 | 京丹後発！ICT×地方創生甲子園 | 第2回高校生個別セッション11名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋～5日まで |
| 10月 | 3日 | ソーシャルテックサミット | |
| | 8日 | チロル堂（生駒）視察 | |
| | 9日 | JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷 セミナー（益城町） | 参加者10名 講師 代表理事 中川直洋 10日まで |
| | 12日 | いざ鎌倉！第2回 個別セッション7名（オンライン） | ～13日、1日 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 15日 | 沼宮内高等学校講義 | 25名 講師 中川直洋代表理事 |
| | 16日 | 美濃加茂市商工会議所セミナー | 10名 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 18日 | 京丹後発！ICT×地方創生甲子園 | 第3回高校生個別セッション11名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋～20日まで |
| | 20日 | 美濃加茂高等学校（定時制）講義 | 100名 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 23日 | 大学生向けふるさとワーキングホリデー発表会 | 代表理事 中川直洋、渡邊理事、行方監事参加 |
| | 28日 | 網野高校講義 | 40名 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 30日 | いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGERサミット | 藤野、柳澤、中川参加 |
| | 31日 | いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD | 理事全員参加 |
| 11月 | 2日 | くまもと CHALLENGER AWARD 個別セッション7名（オンライン） | 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 5日 | 美濃加茂高校 | 40名講義 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 7日 | 京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 京丹後発！ICT×地方創生甲子園 | 開催 |
| | 10日 | JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷 | 第1回 個別セッション7名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋 |
| | 14日 | くまもとセミナー | 40名参加 講師 柳澤副会長、中川代表理事 |
| | 20日 | 美濃加茂セミナー | 10名参加 講師 代表理事 中川直洋 ～21日まで |
| | 24日 | くまもと CHALLENGER AWARD 個別セッション7名（オンライン） | 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 30日 | 京都府立清新高等学校 | 40名参加 講師 代表理事 中川直洋 |
| 12月 | 1日 | 大学生向けおおくまハチドリプロジェクト | 個別セッション（オンライン）20名 講師 代表理事 中川直洋～2日まで |
| | 2日 | JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷 | 第2回 個別セッション7名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋 ～3日まで |
| | 3日 | 第1回 いづなセミナー | 10名参加 講師 代表理事 中川直洋 ～4日まで |
| | 9日 | 養父市セミナー | 10名参加 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 11日 | JAPAN CHALLENGER AWARD 四條畷 | 開催 審査員藤野会長、司会仲木専務 |
| | 15日 | 学校法人英数学館講義 | 50名 講師 代表理事 中川直洋 |
| | 18日 | くまもと CHALLENGER AWARD | 開催 審査員渡邊理事 |
| | 19日 | おおくまハチドリプロジェクト発表 | 審査員 中川代表理事 |
| | 21日 | JAPAN CHALLENGER AWARD 美濃加茂 | 個別セッション7名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋 |
| 令和4 | | | |
| 1月 | 9日 | くまもと CHALLENGER AWARD サロン（個別対応） | 7名 中川直洋 |
| | 15日 | 第2回 いづなセミナー | 10名参加 講師 代表理事 中川直洋 ～16日まで |
| | 17日 | 銚子セミナー | 15名参加 講師 代表理事 中川直洋 ～18日まで |
| | 19日 | 沼宮内高等学校発表会 | |
| | 20日 | 第1回 JAPAN CHALLENGER AWARD 美濃加茂 | 個別セッション5名（オンライン）講師 中川直洋代表理事 |
| | 21日 | 京丹後サロン7名（オンライン） | 個別セッション 講師 中川直洋代表理事 |
| | 22日 | 瀬戸内セミナー | 30名参加（オンライン）講師 中川直洋代表理事 ～23日まで |
| | 25日 | 養父市セミナー | 10名参加 講師 中川直洋代表理事 |
| | 30日 | 第2回 JAPAN CHALLENGER AWARD 銚子 | 7名 個別セッション 講師 中川直洋代表理事 31日まで |
| 令和4 | | | |
| 2月 | 1日 | 第2回 いづなCHALLENGER AWARD | 個別セッション7名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋 |
| | 5日 | いづなCHALLENGER AWARD | 開催 司会 仲木専務 審査員 渡邊理事 |
| | 7日 | 第1回 SETOUCHI CHALLENGER AWARD | 個別セッション7名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋 ～9日まで |
| | 9日 | 第1回 JAPAN CHALLENGER AWARD 銚子 | 個別セッション7名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋 ～14日まで |
| | 20日 | JAPAN CHALLENGER AWARD 銚子 | 開催 司会仲木理事、審査員 渡邊理事 |
| | 21日 | 伊豆視察 | |
| | 22日 | 第2回 SETOUCHI CHALLENGER AWARD | 個別セッション7名（オンライン）講師 代表理事 中川直洋 ～26日まで |
| | 23日 | 富山視察 | |
| 3月 | 5日 | SETOUCHI CHALLENGER AWARD | 開催 |
| | 13日 | 第2回JAPAN CHALLENGER AWARD 美濃加茂 | 個別セッション5名（オンライン）講師 中川直洋代表理事 |
| | 14日 | 学校法人英数学館 IR報告会 指導 | 中川直洋代表理事 |
| | 27日 | JAPAN CHALLENGER AWARD 美濃加茂 | 開催 審査員 柳沢大輔副会長 |
| | 31日 | 京丹後発！ICT×地方創生甲子園 | グランプリの山口氏に同行し、京丹後市と協定締結 |
| 4月 | 8日 | 富山県、朝日町視察 | 参加 中川直洋 |
| | 17日 | SETUCHI CHALLENGER AWARD 交流会 | 参加 中川直洋代表理事（オンライン） |
| | 25日 | 伊豆、松崎町視察 | 参加 中川直洋代表理事 |
| | 27日 | 岩手県沼宮内高校 | 50名講義 講師 中川代表理事 |
| 5月 | 6日 | 地方起業の面白塾（1回） | 講義 柳澤副会長、中川代表理事 香川県豊岡市 30名参加 |
| | 7日 | 高松セミナー | 40名 講師 柳澤副会長、中川代表理事 |
| | 18日 | 地方起業の面白塾（2回） | 講義 中川代表理事 長野県佐久市 ゲスト田澤麻里香さん（JAPAN CHALLENGER レジェンド） |
| | 19日 | 長野県飯田市 | 視察 参加 中川代表理事 |
| | 20日 | 長野県伊那市 | 視察 参加 中川代表理事 |
| | 26日 | 沖縄県石垣島市 | 視察 参加 中川代表理事 |
| | 30日 | 山形県視察 | 参加 中川代表理事 |
| 6月 | 3日 | 地方起業の面白塾（3回） | 講師 渡邊理事 |
| | 6日 | 第1回 JAPAN CHALLENGER GATE 一般の部 | 1回個別セッション 17日までに4社 |
| | 13日 | 兵庫県豊岡市視察 | 参加 中川代表理事 |
| | 21日 | 銚子商業高校 | 講義 講師 中川代表理事 |
| | 23日 | 第1回 JAPAN CHALLENGER GATE 高校生の部 | 1回個別セッション 16名 25日まで |
| | 25日 | 岩手県沼宮内高校 | 50名講義 講師 中川代表理事 |
| 7月 | 13日 | 地方起業の面白塾（3回） | 講師 中川代表理事 ゲスト JAPAN CHALLENGER レジェンド 松原淑美さん |
| | 15日 | 第2回 JAPAN CHALLENGER GATE 高校生の部 | 1回個別セッション 16名 25日、まで |
| | 19日 | いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 2022選考会 | |
| | 23日 | JAPAN CHALLENGER GATE | 開催 |
| | 25日 | 飯田市セミナー | 参加30名 講師 柳澤副会長、中川代表理事（オンライン） |
| | 28日 | くまもと CHALLENGER AWARD | ご交流会 参加 中川代表理事（オンライン） |
| | 30日 | 瀬戸内セミナー（30名） | 講師 中川代表理事 31日 |

収支報告書

単位：円

| | | | | |
|----------|--|--|--|------------|
| (1) 経常収益 | | | | |
| 受取会費 | | | | 2,750,000 |
| 正会員受取会費 | | | | 0 |
| 会員受取会費 | | | | 2,750,000 |
| 事業収益 | | | | 24,969,033 |
| チケット収入 | | | | 153,438 |
| 書籍収入 | | | | 0 |
| 受取受託料 | | | | 21,186,595 |
| 受取参加料 | | | | 3,629,000 |
| 受取寄付金 | | | | 6,817,761 |
| 受取寄付金 | | | | 5,560,000 |
| 協賛金収入 | | | | 530,000 |
| 受取寄付金振替額 | | | | 727,761 |
| 雑収益 | | | | 262,292 |
| 受取利息 | | | | 9 |
| 雑収益 | | | | 262,283 |
| 経常収益計 | | | | 34,799,086 |

| | | | |
|---------|------------|---------|------------|
| 事業費 | 33,357,185 | 管理費 | 4,233,974 |
| 役員報酬 | 8,143,200 | 役員報酬 | 1,216,800 |
| 給料手当 | 2,068,479 | 福利厚生費 | 151,000 |
| 臨時雇賃金 | 0 | 旅費交通費 | 1,271,013 |
| 旅費交通費 | 3,527,692 | 支払手数料 | 396,042 |
| 支払手数料 | 42,371 | 通信運搬費 | 2,644 |
| 通信運搬費 | 120,175 | 事務用消耗品費 | 34,232 |
| テキスト代 | 725,715 | 広告宣伝費 | 61,160 |
| 事務用消耗品費 | 229,677 | 消耗品費 | 0 |
| 広告宣伝費 | 3,319,243 | 修繕費 | 0 |
| 消耗品費 | 0 | 印刷製本費 | 0 |
| 印刷製本費 | 0 | 会議費 | 22,276 |
| 会議費 | 497,489 | 賃借料 | 188,880 |
| 賃借料 | 1,409,520 | 調査研究費 | 0 |
| 調査研究費 | 3,280 | 租税公課 | 75,200 |
| 諸謝金 | 2,305,350 | 委託費 | 748,081 |
| 租税公課 | 809,900 | 支払利息 | 5,886 |
| 支払負担金 | 990,000 | 雑費 | 60,760 |
| 委託費 | 9,151,944 | 経常費用 | 37,591,159 |
| 雑費 | 13,150 | | |

当期経常増減額 $\Delta 2,792,073$

*事業費は、公益1、公益2、共通を合算しています。

*事業費の広告宣伝費では、当初計画のなかった書籍制作を行いました。地方起業の教科書は、増刷にもなり、今後は印税も入ってきます。

セミナーのテキストとしても活用しますが、弊社の活動を知っていただくため、省庁は自治体、学校へ配布しています。

*管理費の支払手数料は、公益手続きの報酬です。